

【様式第 1-1 号】

【ふじのくに未来財団助成事業】

事業計画書

2023年6月5日

公益財団法人ふじのくに未来財団 土屋 優行 様

ふじのくに未来財団助成事業募集要項に基づき、以下のとおり応募します。

1. 申請事業について

申請事業名	みしまコロマガ制作プロジェクト
基金名	弥栄（いやさか）基金 （静岡県東部における地域貢献活動）
事業費	652,750 円 （ 内、助成金申請額 000,000 円 ）
事業実施期間	2023年6月24日（土）～ 2024年1月31日（水） ※申請以前から活動している事業も助成可能ですが、 <u>2023年8月31日以前に発生した経費は助成対象外となります。</u>
申請事業概要	【目的、対象、事業内容を簡潔に】（200字前後で） 身近な印刷物はどのように作られているか、プロの編集デザイナーのチームから指導を受けて、子どもたちはゼロから制作工程に関わります。編集作業や取材を体験しながら地元密着型のフリーマガジンを完成させる。子どもたちで決めた取材先との交流を深め、地元の良いところも再認識、地域とのコミュニケーションから郷土愛を育んでもらう。この実績を自信や夢の実現に繋げてもらい、参加者がさらに次世代にバトンできる人材になることを目的にしています。

2-1. 団体の概要

フリガナ	ころころキコロ			
団体名	ころころキコロ			
フリガナ	カドクラ キョウコ	役職名	代表	
代表者	門倉 京子			
団体所在地	〒411-0838 静岡県三島市中田町 10-29			
団体連絡先	TEL	055-991-1231	FAX	055-213-5032
	E-mail	colomaga.mishima@gmail.com		
情報公開度	canpan の 数 : ★★★			

2-2 担当者連絡先 (日中にご連絡できる連絡先 団体の代表者と異なる場合のみ記入してください)

フリガナ			
氏名			
連絡先	TEL		FAX
	E-mail		

※団体連絡先・担当者連絡先には、常時連絡が取れる電話番号をご記入ください。

※助成事業期間終了後もご連絡しますので、代表者・担当者や連絡先が変更になる場合は必ずご連絡ください。

※申請書に記載された個人情報は助成事業の範囲内で利用し、それ以外の目的に利用することはありません。

※これ以降は、必要に応じて枠の大きさを変更していただいて構いません。

3. 団体の活動について（※簡潔に記載してください。）

3-1. 団体の活動ミッション

- ・子どもたちの決定案を尊重し、「やってみたい」をサポートして主体性を育てる
- ・地域との交流の中で地元の再発見をし、地元愛を育てる
- ・現役デザイナーから指導を受け、プロの仕上がりを目指し、編集スキルをアップをする
- ・読み手の目線を意識し、「伝えたいこと」を届けるための表現力と発信力を身につける
- ・次号にブラッシュアップするための発表の場をつくり、次世代にも背中を見せて、世代バトンを生む
- ・年1回の発刊、10年間続ける

3-2. 申請する事業に関連した、これまでの主な活動成果

2013年 クリエイターチームとNPO サプライズ協働で、伊豆市立修善寺南小学校の授業でローカルマガジン「KURURA vol.1」を制作し、そのときに参加していた児童たちが大学生になり、OBでKURURA コネクトチームを結成して活躍している。KURURA こども編集部が倫理法人会等で講演。「キッズデザイン賞」受賞。静岡県文化プログラム事業としても採択される。2020年にKURURA コネクトチームが全地域交流会「コロマガサミット0」を実施。

現在、1都2府5県16エリア（東京都・静岡県・山梨県・長野県・神奈川県）が参画中

4. 申請する事業・活動の内容について

4-1. 事業目的

□申請事業の生まれた背景・解決したい社会課題は？

2013年に修善寺南小学校の生徒が考えた修善寺MAPを制作。自分たちの書いた記事が印刷されて、市内配布されたことを非常に嬉しがっている児童たちと、MAPを賞賛する連絡が学校に入ってくる。

この流れの中で社会で求められるような、コミュニケーション能力や規範意識が育ち、さらに子どもたちも地元に対する愛郷心が生まれて、地域のことをもっと知ろうと情報を集めるようになった。

地域活性の一助になると感じ、「COLOMAGA project」を発足。

【事業活動の目的・ねらい】

情報誌・パンフレット・書籍・ポスターなど、私たち身近にある印刷物はどのように作られているのか、構成や見出しの付け方などをプロのデザイナー、ライターから指導を受け、子どもならではの感性で実際に取材撮影、デザインをして、地元紹介のフリーペーパーを完成する。ゼロから制作プロセスに関わり「デザイン」の仕事とはどんなものを体験してもらい、その実績を積んで自信や夢に繋げてもらう。地元を取材することで自分たちの暮らすまちの良いところも再認識、地域とのコミュニケーションと郷土愛を育んでもらう。年に一冊発行をして、この活動を長期的に継続することで、地域の未来を支える人材育成をする。

【解決したい課題】

①・・・現在の子どもたちを取り巻く環境は昔と違い、地域社会の子育ち機能が大きく低下しており、夢を持たない子ども、自己肯定感の低い子ども、更にはいじめや不登校、ひきこもり、自殺など深刻な社会問題がありますが、その解決の一部になりたい。

複雑化している課題なため、何か一つの問題に向き合えばよいとはいかず、アプローチ方法も様々に必要ですが、その一つにこのコロマガが役立つと思っています。

海外ではアウトプット教育が主体で、子どもの考えを否定せずに信じ、自発的に意見を言える環境づくりと、自己肯定感を育むことが大切とされています。日本は今もまだインプット教育が主流であり、議論経験の乏しい子どもたちは自分の意見を発信できない場面が多くあり、そのため、世界の自己肯定感に関するアンケートでは日本は世界と比べて自己肯定感がかなり低いという結果が出ています。

コロマガでは、一つの雑誌をゼロから作るというプロセスの中で、子どもたちの「やりたい！」という気持ちを大切に、大人はそのサポートに徹するスタンスを取り入れます。

子どもたちの選んだ取材先で、子どもたち主体で雑誌を作る過程で、グループとの打ち合わせやディスカッション、発信するための工夫などアウトプットの場面を用意します。

②・・・高齢社会、核家族化によって世代を超えた地域交流の場が減ってきているので、子どもたちから飛び込み、交流の輪を広げていきたい。

申請事業を行うことで、上記の課題がどのように変化することを目指しますか？

自分たちの力で作り上げた作品によって自信がつき、自己肯定感の向上、夢の実現のために主体性ある考え方が育つ。さらに次世代へも背中を見せてバトンを繋げていくことで、持続可能な社会づくりが生まれる。子どもたち自身が取材を通して地域課題に触れて、それを情報誌にも取り上げ、自らが解決の一部となっていくこと。

誰のために？（事業の対象者・受益者は？）

三島市民、三島にある店舗、三島に来てくれた観光客の方

事業実施地域は？

静岡県三島市内

SDGs 対応番号

コロマガ制作プロジェクト自体・・・

4 だれもが公平に質のよい教育を受けられるようにしよう

17 世界のすべての人がみんな協力しあい目標を達成しよう

取材を通して意識すること・・・SDGs 番号全て

4-2. 事業の詳細（事業の具体的内容）

※講座、ワークショップやイベント、調査研究等の内容など。

事業内で実施する個別の活動について、

「実施項目」「主な対象者と人数」「実施場所」「講師やスタッフ配置」「雨天時対応」

「何を・どのように・どうするか（具体的内容）」「（参加費を取る場合のみ）参加費」などが分かるように詳しく記載してください。

※他団体と共催する事業・講座やイベントは申請できません（募集要項別紙参照。詳しくは相談時にお問い合わせください）。

【活動プログラム】

<主な対象者>

- ・三島市内在住の小学生4年生～中学2年生まで

<参加費>

- ・3,000円（税込・材料費・保険料含む）

■6月24日（土）【第1回】デザイナーによるオリエンテーション

<場所>

- ・三島市民活動センター4階 第一・二会議室

<講師>

- ・門倉京子 氏：みしまコロマガ制作委員会代表、DTPデザイナー
- ・岩崎亨美 氏：colors+ 代表、グラフィックデザイナー

<受付スタッフ・議事録>

- ・土佐谷有里佳（みしまコロマガ制作委員会 事務局）

<内容>

- ・情報誌ワークショップ① 編集デザイン
9：00～10：30（休憩10分）「デザインって何だろう」「雑誌を作るために必要な要素」
- ・情報誌ワークショップ② イラストレーター
10：30～12：00（休憩10分）「情報誌のタイトルのロゴを考えよう」

■7月1日（土）【第2回】クリエイターによるオリエンテーション

<場所>

- ・三島市民活動センター4階 第一・二会議室

<講師>

- ・本杉 薫 氏：記者、ライター
- ・高良綾乃 氏：Wasabeeライター、ふじのくに防災士、フォトグラファー

<受付スタッフ・議事録>

- ・土佐谷有里佳（みしまコロマガ制作委員会 事務局）

<内容>

- ・情報誌ワークショップ① ライター

9:00~10:30 (休憩 10分) 「文章で伝える」「見出しと記事」

- ・情報誌ワークショップ② フォトグラファー

10:30~12:00 (休憩 10分)

「写真で伝える」「キャプション」

雑誌での写真の重要性／実際に写真を撮ってみよう／

スマホでも撮れる記事写真／被写体と光に気をつける

■ 7月15日(土) 【第3回】構成相談・取材準備(グループ)

<場所>

- ・三島市民活動センター4階 第一・二会議室

<講師>

- ・門倉京子 氏:みしまコロマガ制作委員会代表、DTP デザイナー
- ・本杉 薫 氏:記者、ライター
- ・福原美奈 氏:制作プロジェクトコーディネーター

<サポーター>

- ・石井真人 氏:みしまコロマガ制作委員、Kicoro の森プロジェクト、FNPOWER (株) 代表
- ・野村弘一 氏:みしまコロマガ制作委員

<受付スタッフ・議事録>

- ・土佐谷有里佳 (みしまコロマガ制作委員会 事務局)

<内容>

- ・取材ワークショップ①

9:00~10:30 (休憩 10分)

「テーマ決定」→取材目的を明確にするために基本テーマを設定し、誰に何を伝えたいのか考えます

「グループと役割分担の決定」→それぞれのやりたい事にチャレンジ／グループごとに役割を決める

「表紙について」→テーマに沿った表紙案(宿題)を考えます

- ・取材ワークショップ②

10:30~12:00 (休憩 10分)

「取材先と内容の決定」→取材アンケート用紙の作成、事前に取材先に日程確認など

■ 8月(2回)~9月(3回) 【第4回~】取材・原稿作成(グループ)

午前の部 9:00~11:30

午後の部 13:30~16:00

<場所>

- ・三島市民活動センター4階 第一・二会議室

・三島市内の取材先

<講師>

- ・門倉京子 氏：みしまコロマガ制作委員会代表、DTP デザイナー
- ・岩崎亨美 氏：colors+ 代表、グラフィックデザイナー
- ・本杉 薫 氏：記者、ライター
- ・高良綾乃 氏：Wasabeeライター、ふじのくに防災士、フォトグラファー
- ・福原美奈 氏：制作プロジェクトコーディネーター
- ・土佐谷有里佳 氏：カラーコーディネーター

<サポーター>

- ・石井真人 氏：みしまコロマガ制作委員、Kicoro の森プロジェクト、FNPOWER (株) 代表
- ・萩原達也 氏：みしまコロマガ制作委員、子どもの可能性を最大限に引き出す (株) QILOT 代表
- ・野村弘一 氏：みしまコロマガ制作委員
- ・保護者 ・臨時サポーター (随時募集中)

<受付スタッフ・議事録>

- ・土佐谷有里佳 (みしまコロマガ制作委員会 事務局)

<内容>

- ・取材ワークショップ① (午前の部) × 3回
- 現地取材 (グループごとに活動 ※必ず大人が同行する)
- ・取材ワークショップ② (午後の部) × 3回
- 各グループのテーマごとのタイトル決定・記事 (ラフ) の作成 (イラスト制作など宿題)

<雨天時対応> ・小雨決行、荒天時は室内ワークに変更

<持ち物> ・飲み物、帽子、汗拭きタオル、

<お昼>ワークショップが通しの場合・・・お弁当 (提供)

<移動手段> ・現地までは保護者が送迎、移動は公共交通機関を利用

■10月～11月【編集・デザイン・校了・印刷】

<場所>

- ・三島市内レンタルオフィス (予定) Wi-Fi 環境必須

<講師>

- ・門倉京子 氏：みしまコロマガ制作委員会代表、DTP デザイナー
- ・岩崎亨美 氏：colors+ 代表、グラフィックデザイナー
- ・土佐谷有里佳：カラーコーディネーター

<内容>

- ・ DTP ワークショップ①（エディタデザインに興味ある児童2名まで）

DTP デザイン（エディターを使ってみよう／Illustrator／Photoshop／InDesign）

■12月3日（日）【イベント】コロマガサミット 全国のコロマガチームが集結！

<対象者>

- ・全国のコロマガ制作実行委員会、関係者、取材先など

<日時>

- ・ 10：00～16：00 三島市商工会議所 TMO ホール

<参加費>

- ・無料

<講師やスタッフ配置>

- ・みしまコロマガ制作委員スタッフ6名

<受付スタッフ>

- ・土佐谷有里佳（みしまコロマガ制作委員会 事務局）

<内容>

- ・全国のコロマガメンバー交流会／仕上がった雑誌のお披露目と発表会／記者会見（予定）

【みしま版コロマガ配布】

2023年12月3日発行（予定）

- ・発行予定部数 3,000部 オールカラー16P
- ・内容・・・地元密着型情報誌

■2024年1月

【次号クリエイターキッズ募集チラシ制作】

<対象者>

- ・市内小中学校配布 8,000枚

【反省会・打ち上げ会】

<対象者>

- ・参加者・講師・スタッフ

<場所>事務所

4-3. 実施スケジュール

※「4-2.事業の詳細」に記載した内容について、事業の流れを記入してください。

実施日程	実施項目（内容説明）・作業項目・実施場所等、詳細に記入してください。
2023年5月	<p>【プロジェクト準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズクリエイター募集チラシ制作（事務所）
2023年6月	<p>【スタッフ&講師陣会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールの調整、講座内容のクオリティ <p>【キッズクリエイター募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズクリエイター募集チラシ配布（市内小中学校に自由取り設置） ・市内の協力していただいている飲食店に設置 ・オンライン受付フォーム作成 ・募集で集まった児童に開催場所、詳細案内を配信
2023年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・6月24日の講座内容・準備チェック（門倉・岩崎）
2023年6月24日	<p>【講座開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイナーによるオリエンテーション（市民活動センター4階）
2023年6月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・7月1日の講座内容と準備チェック（門倉・土佐谷）
2023年7月1日	<p>【講座開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイターによるオリエンテーション（市民活動センター4階）
2023年7月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・7月15日の講座内容・準備チェック（門倉・土佐谷）
2023年7月15日	<p>【講座開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材ワークショップ（市民活動センター4階） ・午後・・・スタッフで取材スケジュールについて打ち合わせ（事務所）
2023年8月～10月	<p>【取材の下見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材先までの安全なルートの確認、休憩場所の確保など（スタッフ3名） ・講座内容・準備チェック（門倉・土佐谷・講師） <p>【講座開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材ワークショップ
2023年10月上旬	<p>表紙案プレゼン（複数案があった場合）ZOOM 予定</p>
2023年10月25日	<p>【フリーマガジン編集スタート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての原稿を入稿 ・表紙案 決定
2023年11月	<p>【講座開講】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集ワークショップ（事務所またはzoom） <p>【フリーマガジン印刷】</p>

2023年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集担当：門倉 ・文字校正担当：スタッフ6名 ・校了印刷
2023年12月3日	【フリーマガジン配布開始】
2023年1月	<ul style="list-style-type: none"> 【コロマガサミット発表会】 【次号クリエイターキッズ募集チラシ】 ・市内小中学校配布 ・配布作業（市民活動センター4階） 【反省会・打ち上げ】 ・参加者・スタッフ（市民活動センター4階）

4-4. 申請する事業の主な活動メンバー（講師含む）、他団体・組織との連携について

（人数・団体数に応じて枠を追加してください）

氏名	所属団体・役職	申請事業における役割
門倉 京子	自営業	事業企画・運営・講師・会計
土佐谷 有里佳	FNPOWER トータルコーディネーター	事業事務局・カラーコーディネーター講師
岩崎 亨美	グラフィックデザイナー	イラストレーター講師
本杉 薫	記者	ライター・フォトグラファー講師
高良 綾乃	Wasabeeライター ふじのくに防災士	フォトグラファー講師
石井真人	学校運営協議会委員	事業サポート・相談役
野村弘一	会社員	事業サポート
福原美奈	会社員	コーディネーター講師
萩原達也	QILOT 代表	事業サポーター
団体名 ※完全単独実施の場合、記載不要です		事業における役割

コソダテ学校 3919	広報協力（チラシ配架）
市内全 小学校 14 校・中学校 7 校	広報協力（チラシ配架）
三島市教育委員会	後援

※個人情報にあたる部分は公表しません。

4-5. 事業目標

事業成果をどのような指標で図りますか？	左記の指標に対する具体的な達成目標（数値で記載）
【各ワークショップ】 ・参加アンケートの満足度	・とても良かった、良かったを合わせて 80%以上 ・次回も参加したい、が 80%以上

4-6. 見込まれる成果

※この事業が課題に対して果たす役割や、地域・社会にもたらす影響は？

次工程を考えた事前準備や効率化など、雑誌をつくる過程で生まれる課題の発見と解決策を生み出す力がつき、参加した子どもたちの視野が広がる。実際に雑誌を完成させた達成感と、第三者からの評価など次号へのブラッシュアップを反映させる持続的な活動が、自己肯定感と創造力を向上させる。子どもと大人のサードプレイスの場づくりになり、コミュニティ創出の一助となる。子どもも主体で作成された雑誌に、地域からのアクションも多く見込まれ、地域とのコラボレーションに派生する可能性がある。

4-7. 事業の広報・印刷物等について（なるべく具体的に記載してください）

※事業の参加者を募集する場合、どのように広報しますか？

（募集サイト・HP 等を利用する場合→サイト名等を記載）

チラシを配布するなどの場合 →チラシ印刷枚数、配布予定先等を記載）

※パンフレット・冊子等を作成する場合、どこに配布する予定ですか？（部数や配布予定先を記載）

【コロマガキッズクリエイター募集チラシ】

チラシ 1,500 枚作成

<配布先>

市内小学校 1,200 枚

ポスティング 200 枚

コソダテ学校 3919 30 枚

えがしらみちこ えほんやさん 20 枚

予備 50 枚

【三島版コロマガフリーマガジン vol.1】

フリーマガジン 3,000 部作成

<配布予定先>

市内小中学校（自由取り配架）2600 部

市内協力店舗（手渡し）100 部（取材内容によって配布店舗を決定）

協力者（手渡し）50 部

参加者（手渡し）30 部

予備 60 部

全 16 地域のコロマガ実行委員会 160 部（郵送）

※コロマガ公式ホームページ（<https://www.colomaga.jp>）で広報

4-8. 提案事業の新規性・アピールポイントについて

※募集要項「3. 助成対象活動」(2) の要件について、**事業のどこが新しいか（または団体の既存の取り組みをどのように改善するか）**について説明して下さい。

子ども主体の雑誌制作であること、プロのクリエイターから指導をしてもらい、本格的な雑誌に仕上げ、市内全域に配布され、認知される媒体となること。

5. 事業終了後の事業継続性・自立性について

※助成金終了後、提案事業はどのように継続・自立させますか？

事業を継続するための資金調達計画や、実施体制を記載してください。

・参加した子どもたちには次年度も継続するか確認して、次号にも参加してもらえるよう楽しく学びあるプロジェクトにしていき、すでに伊豆版では初期メンバーがOBチームを作り運営を回すなど、継続性ある事業であることが確認できているので、三島版もそこを目指し、いずれはOBに現役クリエイターが誕生することを考え10年継続した発刊を目指します。

資金面の調達はまずは三島版 vol.1 を発刊したあとは、協賛企業や、クラウドファンディングなど新たな取り組みを盛り込み、活動費と印刷費の捻出を考えています。

子どもたちがさらに新しいチャレンジができるようサポートを充実させていくので、助成金も利用していく予定です。